

### 3. 旭川医科大学医学部（国立）

<http://www.asahikawa-med.ac.jp/>

### Asahikawa Medical College, School of Medicine

〒078-8510 北海道旭川市緑が丘東2条1丁目1番1号

電話0166-65-2111(代)

#### 1. カリキュラム全般について

##### A. 一般教育（教養）と専門教育との関係：

- 1) 学則上は一般教育（教養）と専門教育とを区別せず、6年一貫教育である。
- 2) 一般教育（教養）の学習は1、2年生のみではなく3年生以上でも行われる。
- 3) 専門教育（準備教育は除く）の学習は1年生から開始する。

##### B. 教授会は一般教育（教養）と専門教育とで常に合同で開催される。

##### C. 学生や教員や地域住民などに対し、医学部・医科大学としての一般目標や理念が印刷物や看板・ホームページなどのメディアで示されている。

##### D. 学生や教員が学習内容を予め知ることができるように、授業科目の学習目標（一般目標や行動目標）、授業内容、担当者などを印刷物（シラバス）ですべて示してあり、その印刷物を履修要項という。

##### E. 4年生大学既卒者（学士編入生）は卒業学部にかかわらず、すべて2年生に編入する。 編入生の編入時期はすべて10月である。

##### F. 1年生の入学時オリエンテーションは2日間行うが合宿ではない。

##### G. Early Exposure（医学教育の早い時期に医学・医療の場に接し動機づけを試みる教育）を行っている学年は1、2年生である。

その期間と内容：1年生：5日間：福祉・医療施設実習

2年生：5日間：福祉・医療施設実習

##### H. PBL/チュートリアル（小グループで行う問題解決型学習）が導入されている。

コアタイムの時間は

1年生は、平均して週2時間×年間20回である。

4年生は、平均して週2時間×年間40回である。

自習用に割り当てられている時間は

1年生は、平均して週2時間×年間20回である。

4年生は、平均して週2時間×年間40回である。

チューターは学年により異なっていて一般教養系、基礎医学系、臨床医学系を問わない。

チューター養成のためのトレーニングプログラムや講習会などが行われている。

##### I. 細胞・組織レベル、ないしは臓器系統別の統合カリキュラムを多くの部分で採用している。

##### J. 平成17年以降、大幅なカリキュラム改訂は、行われていない。なお、現行カリキュラムの特色は下記のとおりである。

- ・ 選択必修コースの導入
- ・ 症候別・課題別講義の導入
- ・ 医学研究特論の必修化
- ・ 僻地医療実習の必修化

##### K. 今後のカリキュラム改訂は平成21年を目途に予定している。そのねらいは下記のとおりである。

本学ホームページから

「旭川医科大学教育改革のグランドデザイン」を参照下さい。

(URL <http://www.asahikawa-med.ac.jp/new04/study/index.html>)

L. 現在学内で、医学教育について検討されている事項は下記の点である。

本学ホームページから  
「旭川医科大学教育改革のグランドデザイン」を参照下さい。  
(URL <http://www.asahikawa-med.ac.jp/new04/study/index.html>)

## 2. 選択制について

専門教科について選択制を採用している  
専門教科で選択制としている教科は下記のとおりである。  
選択必修コース I～VI (選択必修)

## 3. 一般教育(教養)について

- A. 医学部医学科以外の学部や学科のある大学に同います。  
一般教育(教養)の授業は他学部(他学科)の学生と一部が一緒である。
- B. 他大学との単位互換について認めている。
- C. 医学部のみの大学に同います。  
一般教育(教養)の教員の所属はほとんどが自大学の所属である。
- D. 一般教育(教養)部門では一部が選択科目で、それは一般教育(教養)の約50%である。
- E. 平成19年新入生で、高等学校などで「生物」を履修していない学生の数は調査していないのでわからない。  
「生物」を履修しなかった学生に対して補習ないしは選択で授業をしている。
- F. 平成19年新入生にはセンター試験が導入されていた。  
入学者のうち「生物」を選択していた学生は約64%であった。

## 4. 基礎医学教室ないしは社会医学教室(研究室)配属について

- A. 学生が一時期、基礎医学教室ないしは社会医学教室(研究室)に配属されるシステムがあり、希望者のみが  
3年生の時に平均して1週6時間×15週間配属される。  
4年生の時に平均して1週8時間×15週間配属される。

## 5. 臨床実習(外来実習、BSL、クリニカル・クラークシップを含む)について

- A. 臨床実習前に、まとまった形で医療面接・診察技法(例:臨床実習入門など)の学習を行っている。  
(15日間)  
身体診察の学習に医師や学生以外の標準模擬患者(SP)を導入していない。
- B. 臨床実習の実施学年とその期間は(早朝や時間外は省略)  
5年の時、1週40時間で、42週間である。  
6年の時、1週40時間で、16週間である。
- C. 臨床実習科目は全科目を必修としている。
- D. 大学の附属病院以外の施設(国・公・私立病院や保健所・老健施設などでの実習、国内外を問わない)で臨床実習を行っている。  
集計する場合の週数は、その期間は全部で4～18週で、そこで行う実習科目は(内科、精神、小児、外科、産婦人科、救急)である。  
この大学外の実習の場合の交通費は学生が自分で支払う。
- E. クリニカルクラークシップは内科や外科などの主な臨床実習実施科で導入している。
- F. 臨床実習のための手引書は印刷物として配布されていて、それにはスケジュール、到達目標、医行為の範囲、評価法が記載されている。
- G. 臨床実習の評価として各診療科ごとの評価基準があらかじめ学生に示されている。  
臨床実習の評価結果は合否(進級)の判定(総括評価)に用いられる。そして不合格の場合は、不合格科目のみ再度臨床実習を行う。
- H. 臨床実習中の学生の安全管理対策については  
事前に学習枠を設けて学習している。  
保険制度に加入している。  
ワクチン接種を行っている。

## 6. 学生の海外における実習について

A. 学生の海外における実習は行っていない。

## 7. 評価について

A. 進級判定が行われるのは1年終了時、2年終了時、3年終了時、4年終了時である。

B. 成績の記録法は数段階制（優、良、可、不可、A、B、C、Dなど）を採用している。

C. 卒業判定のための試験は行われていて、それは総合的な試験である。

時期は11月で、期間は1週間（長期休暇期間を除く）である。

D. 6年生の10月以降には、臨床講義が組まれている。

また、大学による国家試験対策のための特別な講義が組まれている。

E. 卒前教育に携わっている教員に対し、教育業績の評価が行われ、その評価を行うのは、所属長、自己である。

自己評価以外の評価結果は本人にフィードバックされる。

その評価結果は昇進などに関係しない。

F. 過去2年間に、卒前教育全体に対する第三者評価が行われた。

## 8. 教員について（医学部・医学科および大学院学生の教育を担当する教員）

A. 教員数（平成19年12月現在）

		教養*	基礎**	臨床***	附属研究施設	その他	合計
常勤 (有給専任)	教授	7	13	19	2		41
	准教授	6	9	22	3		40
	講師	1	5	34			40
	助教	4	23	95			122
	その他						0
	合計	18	50	170	5	0	243

非常勤 (客員・無給を含む)	教授			1			1
	准教授		1				1
	講師			6			6
	助教		1	8			9
	その他						0
	合計	0	2	15	0	0	17

\* 教養の常勤者は医学部所属者のみに限る。総合大学で医学部所属者がいない場合は空欄とする。

\*\* 基礎は社会医学を含む。

\*\*\* 臨床は附属病院・分院を含む。

B. 常勤の教員の任期制の制度を取り入れている。

任期制の制度の概要は下記のとおりである。

- ・教授、准教授、講師、助教に適応。
- ・(任期制適用以前から在職する教員は希望者、又は昇任した者のみ)
- ・任期5年。
- ・任期を定めて雇用する場合は、同意が必要。
- ・再任可能。

C. 教員や臨床実習時の指導医の医療事故に対する対応策については、取り決められていて、何らかの保険制度に、全員が加入している。

9. 学生数（平成19年12月現在）

学 年	総 数		うち学士編入者数	うち今年度留年者数（今年度のみ）	うち休学者数	うち外国人留学生	
		うち女子人数					うち女子人数
1	96	42	0	5	2	0	0
2	103	41	10	5	0	0	0
3	95	40	10	0	1	0	0
4	100	38	10	4	2	0	0
5	103	35	10	0	1	0	0
6	96	31	6	0	0	0	0
合計	593	227	46	14	6	0	0

10. 平成19年4月（今年）の医学部受験状況（編入は含まず、1年生のみ）

受験者数675名、合格者数91名、倍率7.4倍

入学者数90名、（定員90名、うち推薦入学者数0名）

入学者の状況：現役31名、1浪16名、2浪13名、その他\*30名、

定員外に別試験で入学した外国人学生1名

センター試験を導入している

センター試験で理科を2単科目課している。

11. 平成19年（今年）の1年生以外の編入学状況

編入学者数／応募者数

2学年10／298

12. 平成18年4月（昨年）の医学部受験状況（編入は含まず、1年生のみ）

受験者数929名、合格者数92名、倍率10.1倍

入学者数90名、（定員90名、うち推薦入学者数0名）

入学者の状況：現役26名、1浪24名、2浪8名、その他\*32名、

定員外に別試験で入学した外国人学生0名

センター試験を導入している

13. 平成18年（昨年）の1年生以外の編入学状況

A. 編入学者数／応募者数

2学年10／224

B. 編入学者地域わくについて、現在は無い。

平成20年度入学試験より北海道地域枠5名を募集する。

14. 授業時間配分

(1) 学期区分

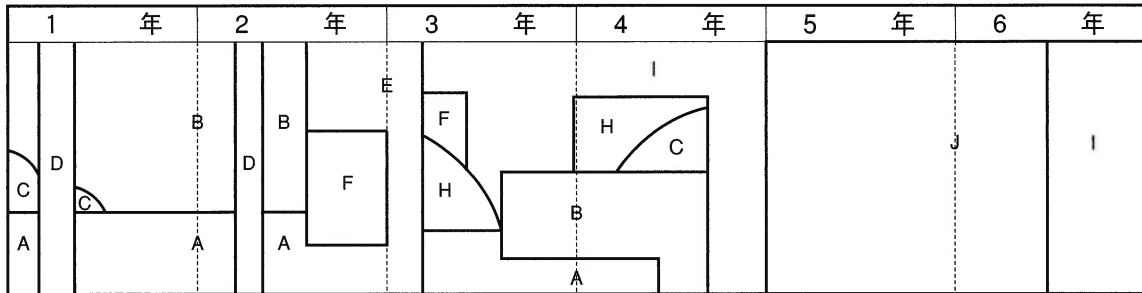
学 年	学期制なし	学期制あり		総時間数		
		2学期制	3学期制	講義	実習	PBL／ チュートリアル
1		○		530	215	80
2		○		435	345	0
3		○		675	225	0
4		○		690	45	120
5	○			0	1260	0
6	○			210	720	0

（アーリーエクスポージャーは実習時間数に含める。）

(2) 土曜日の授業（講義または実習）は全学年年なし

(3) 時間配分の概略図（授業区分のブロック図）

新カリキュラム（総合）



(註) A：教養

B：総合カリキュラム（基礎医学・臨床医学）

C：総合カリキュラム（生物系・社会医学系）

D：学外研修

E：基礎医学（生理系）

F：基礎医学（病理系）

G：総合カリキュラム（臨床医学）

H：社会医学（衛生・法医）

I：臨床医学

J：臨床実習

15. 医学専門教育（専門課程）の教科別授業時間数

授業科目名	講義時間数	実習時間数	合計時間数
○社会医学基礎Ⅰ	15		15
○社会医学基礎Ⅱ	15		15
○社会医学基礎Ⅲ	15		15
○社会医学基礎Ⅳ	15		15
○臨床医学概論Ⅰ	15		15
○臨床医学概論Ⅱ	15		15
○臨床医学概論Ⅲ	15		15
○臨床医学概論Ⅳ	15		15
○生命科学Ⅰ	45		45
○生命科学Ⅱ	60		60
○生命科学Ⅲ	30		30
○生命科学Ⅳ	45		45
○生命科学Ⅴ	30		30
○生命科学Ⅵ	45		45
○生命科学Ⅶ	45		45
○生命科学Ⅷ	30		30
○生命科学Ⅸ	30		30
○生命科学Ⅹ	30		30
○生命科学Ⅺ	30		30
○生命科学実習Ⅰ		45	45
○生命科学実習Ⅱ		45	45
○生命科学実習Ⅲ		45	45
○生命科学実習Ⅳ		45	45
○生命科学実習Ⅴ		45	45
○生命科学実習Ⅵ		45	45
○生命科学実習Ⅶ		45	45
○生命科学実習Ⅷ		45	45
○基礎医学Ⅰ	120		120
○基礎医学Ⅱ	75		75
○基礎医学特論	30		30
○社会医学	45		45
○基礎医学実習Ⅰ		135	135
○基礎医学実習Ⅱ		90	90
○基礎医学実習Ⅲ		45	45
○基礎医学実習Ⅳ		45	45
○基礎医学実習Ⅴ		45	45
○社会医学実習		45	45
○臨床医学序論	15		15
○医療情報学	15		15
○臓器別・系別講義Ⅰ	90		90
○臓器別・系別講義Ⅱ	60		60
○臓器別・系別講義Ⅲ	45		45
○臓器別・系別講義Ⅳ	75		75
○臓器別・系別講義Ⅴ	90		90
○臓器別・系別講義Ⅵ	105		105
○臓器別・系別講義Ⅶ	90		90
○臓器別・系別講義Ⅷ	60		60
○症候別・課題別講義	90		90
○臨床放射線学	15		15
○臨床検査学	15		15
○臨床薬剤・薬理・治療学	30		30
○加齢・老化と高齢者の医学	15		15
○臨床実習序論	90		90
合 計	1710	765	2475

各学年における講義時間数、実習時間数について

	講義時間数	実習時間数	合計時間数
1 学年	330	180	510
2 学年	375	315	690
3 学年	525	225	750
4 学年	480	45	525
5 学年	0	0	0
6 学年	0	0	0
合 計	1710	765	2475

16. その他の教育内容

下記の教育内容は独立した授業科目\*として授業が行われていますか。

独立した科目として授業が行われている科目：

医史学（選択）、医療福祉学（医療社会福祉学）（選択）、医学外国語（必修）、医療情報学（必修）、高齢医学（必修）、臨床医学（必修）

独立した科目として授業が行われていない科目：

人類遺伝学（臨床遺伝学）、医用（電子）工学、行動科学、医療安全、医の倫理、緩和ケア、医療経済、在宅ケア・介護、プライマリ・ケア、家庭医学、人間関係学、医療保険

18. MD-PhDコースを設置していない。